

新入生の皆様

法学研究科にご入学の皆さん、誠におめでとうございます。

本年度、大学院法学研究科は、修士課程 83 名、博士課程 19 名の合計 102 名の正規生に加えて、国費留学生・交換留学生・科目等履修生などの非正規生 57 名、合計 159 名の皆さんをお迎えしました。

法学研究科は、第二次世界大戦後、法律学の研究者養成を目的とする大学院として設立され、多くの法学研究者を輩出してきました。現在では、研究者のみならず、高度の法的素養を備えた職業人の養成、専門職業人へのリカレント教育などの多様な機能をもつ大学院として、受入学生数・教員数・設置科目数のいずれにおいても、日本で最大規模を誇る法学研究科となっています。

修士課程の公法学・私法学・基礎法学専攻の皆さん。なかでも、将来、研究者を志す皆さんにとって、修士課程は博士課程につながる第一段階です。ロースクールが開設され、研究者志望の学生が大きく減少している現在、皆さんにかかる法学界の期待は大変大きいものがあります。皆さんには修士論文・博士論文の執筆を目指して、体系的・計画的に研究を進めていただくための環境を整えています。まずは修士課程で、研究者としてのしっかりした下地をつくってください。

修士課程には、博士課程入学を前提とせずに、職業人となるための専門性を高めようと考えておられる方、あるいは既に専門職業人として活躍する傍ら、当研究科に入学される社会人の方も少なくありません。早稲田には、全国屈指の図書館の設備や、学界から研究者として高い評価を得ている多くの教員の存在といった、素晴らしい研究環境があります。この環境を存分に生かして、今後の皆さんの職業生活における基盤をつくってください。

当研究科は、今年度も多くの留学生の皆さんを正規生としてお迎えしました。皆さんの中には、生活面や経済面での苦勞を抱えながら、論文の執筆に取り組む方もおられるでしょう。多くの方の出身国である東アジアにおける早稲田のプレゼンスは非常に高く、早稲田大学の学位を取得することで得られる社会的価値は非常に大きいといえます。どうか、目標達成に向けて頑張ってください。

修士課程には、昨年から LL.M. コースが開設されました。通常 2 年のところ、1 年で修士号を取得する 2 つのプログラムを設けています。1 つは知的財産法コースで、海外からの入学者を含め 15 名の皆さんをお迎えしました。もう 1 つは現代アジア・リージョン法コースで、英語の授業のみで学位取得を目指します。世界各国から 11 名の皆さんをお迎えしました。皆さんには、LL.M. コース 3 期生として、早稲田法学の新しい歴史の 1 ページを刻んでください。

LL.M. students from all over the world.

Congratulations and Welcome to Waseda University. It is indeed our great pleasure to welcome you all to the Graduate School of Law. “LL.M. in Asian Economic Integration and Law” is our new program that we started in April 2018. Today is the first step of your new journey. We are happy to help you to progress your project, and make your new journey at Waseda successful.

博士課程に入学された皆さんには、内部進学に加えて、外部から進学された方もおられます。皆さんにとっては、博士学位の取得が大きな目標となります。是非、早稲田法学の一翼を担う学者となるべく、研鑽を積んでください。先に述べたように、ロースクール開設後、研究者志望の院生が減少している中であって、皆さんに対する期待は大変大きく、大きなチャンスが広がっています。学界を代表する研究者を目指して、研鑽を積んでください。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、授業開始日などさまざまな面で特別な対応が求められています。そうした中でも、皆さんの学生生活、研究生活が実り多いものになるよう、心よりお祈りしつつ、私達教職員としても、できる限りのサポートをしてまいります。

以上、私からの御挨拶といたします。あらためてご入学おめでとうございます。

大学院法学研究科長
菊池馨実